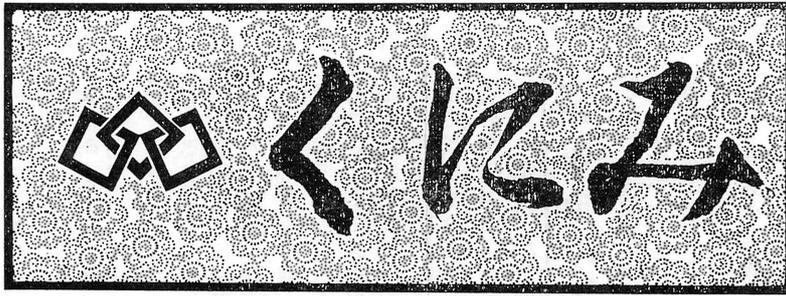


人口と世帯数  
 男 5,783人  
 女 6,207人  
 計 11,990人  
 世帯数 2,631世帯  
 46.7.1現在



## 県北中プール完成 (昭和46年度重点事業)

※4月20日起工した県北中学校プールがこのほど立派に完成いたしました。何かとご協力いただきまして町民の皆様には厚くお礼申し上げます。



※総事業費 10,400,000円  
 プール本体 7,150,000円  
 給排水工事 3,020,000円  
 電気工事 155,000円  
 附帯工事等 75,000円

## 国見町体育協会

体育協会役員名

会長 佐藤元一  
 副会長 広木孝安  
 齋藤太助  
 監事 大和田藤吉  
 紺野平二郎  
 野球部長 佐藤英彦  
 卓球部長 八巻忠一  
 バレーボール部長 浅野守  
 剣道部長 奥山一夫  
 山岳スキー部長 菅野正二

大会の部

行事名	期日	会場	備考
夏季野球大会	8月 22日	県北中	伊達選手権予選兼
伊達管内野球選手権大会	9月 19日	保原町	
秋季野球大会	10月 3日	小坂小県北中	町選手権
秋季町民ソフトボール大会	10月 24日	〃 〃	部落、職場等対抗
国見町卓球選手権大会	11月 3日	県北中	伊達選手権予選兼
伊達管内卓球選手権大会	11月 14日	保原町	
バレーボール大会	12月 19日	藤田小県北中	家庭、革ボール
親子剣道大会	1月 23日	県北中	
桑折国見合同剣道大会	2月	県北中	
スキーレクリエーション大会	2月 13日	小坂スキー場	

講習会・その他

行事名	期日	会場	備考
卓球教室	10月18~23日	県北中	
卓球教室	2月 2~8日	県北中	
バレーボール教室	12月 6~11日	藤田小県北中	家庭、革ボール
バレーボール教室	3月13~18日	藤田小県北中	〃 〃
剣道道場	毎月毎週水曜日	藤田小	
剣道寒げいこ	1月 3~6日	藤田小	
夏山登山	8月 29日	安達太良従走	
秋山登山	10月16~18日	鳥海山	
スキー映画の夕べ	11月 20日	福祉センター	
スキー教室	1月 9日	岳スキー場	
スキー教室	2月 27日	山形蔵王	
スキー教室	3月 5日	天元台	

事業計画決る  
 体力維持増進にふるって参加してください



出生届 二四九 一三三  
 婚姻届 一〇六 二四四  
 死亡届 一〇五 二〇〇  
 その他 八三 九三  
 ◎戸籍についての御相談は 電話二一一一有線四一六一

### 史跡探訪などみんなでやろう!!

#### 郷土史研究会生まる

「愛町、愛郷はまずふるさとを知るから」と、町の有志が相会し、たびたび発起人会を開いて会則その他の準備を進め、去る七月三十日午前九時から福祉センター講堂で結成総会を開き、国見町郷土史研究会が誕生した。

当日出席者は約六十名発起人を代表して佐藤公民館長から趣旨の説明、鈴木囑託からこれまでの経過報告をしたのち、佐藤館長司会で協議に入る。満場一致で規約を承認し、役員選出を諮る。まず各々部から別記のような理事を選出し、次に各々部二名ずつの選考委員によって会長、副会長、理事を選ぶ。事業計画ならびに予算は理事会を開いて決定することにして議事を終り、次に記念講演にうつる。福島商業高校吉田勇先生から「郷土史研究のねらいと方法」について約一時間有益な話をきいて閉会した。尚、当日現在の会員数は百十七名(会費納入者)

- 監事 藤田勝衛 佐久  
 間直次  
 事務局 鈴木美一 佐野 貞治 中村菊永  
 ◎事業計画次のとおり  
 (八月九日役員会で決定)  
 一、講演会二回  
 二、文化財読本研究会三回  
 三、史跡探訪二回
- 四、古文書解読講習会一回  
 五、文化財展示会一回  
 六、民俗資料調査  
 七、会報発行二回  
 八、発掘現場現地研修  
 九、おくの細道探訪会  
 ◎入会歓迎  
 会費三百円を添えて前記役員に申込みよ。

### こんどは森山古墳の発掘調査 区民みんなで刈払い

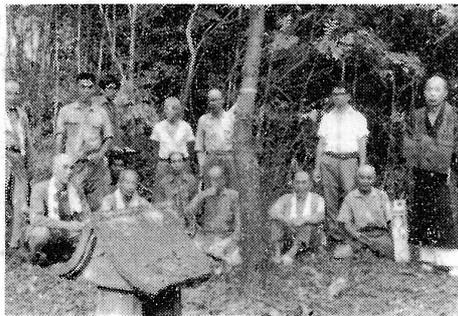
森山長栄寺の裏山に古墳がある。中世紀の古墳として県北地方に珍しく町史編纂にあたりぜひその一ページを飾りたいというので、関係者のご了解とご協力をうけて発掘調査をすることになった。

調査は、福大考古学会の手で、今月二十一日から一

### 老人介護人を募集

一時的な病気で、日常生活に支障のあるおとしりのお世話をする「老人介護人派遣事業」を実施するため町では次により介護人の方を募集いたします。ためすすんで応募くださるようお願いいたします。

- 一、応募期限 九月十日(金)
  - 一、申し込み場所 役場民生課福祉係
  - 一、募集人員 若干名
  - 一、介護の内容 1 食事の世話 2 住居の掃除 3 身のまわりの世話 4 生活必需品等の買物 5 病院等との連絡
  - 一、手当一日(おおむね八時間) 一、〇五〇円
  - 一、半日の場合 五二五円
  - 一、従事日数月二日程度
- 詳しくは住民課福祉係にお問い合わせください。



### 館跡 (二十四) の分布状況を調べる

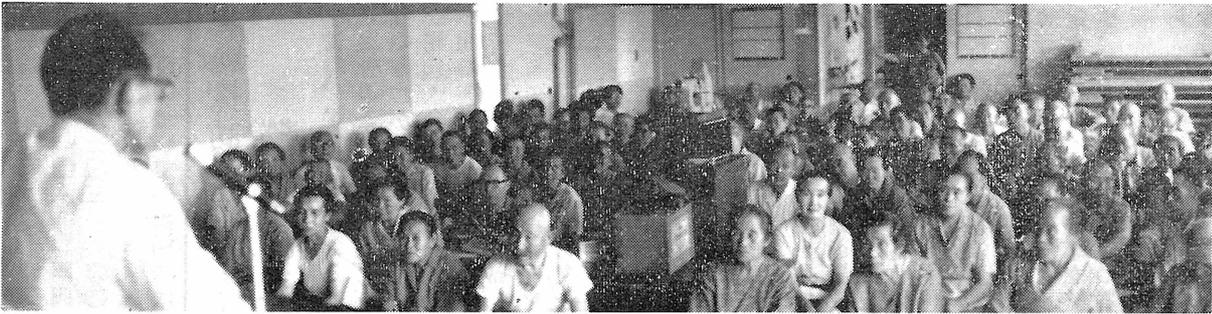
町史編纂室では資料収集の一つとして館跡の分布調査をした。わが国見町内には、藤田城、石母田城、塚野目城など中世紀の武将の居城として天下に知られ、すでに史家の研究の対象となり、各種図書にもその名が掲げられているもののほか、たくさん館跡がのこっている。大きな土塁や堀をめぐらした、豪壮な構えをもって郷民に君臨していたことであろうと想像されるこれらの豪族たち、いつの時代に、何んという人物がすんでいたのか、そして当時、どんな役割りを果たしていたのか、その子孫は現在どうなっているのか、これらたくさん謎を秘めた

館跡一つひとつ調べあげることは容易なわざではないが、せめてその分布状態だけでも後世にのこしたいと考えて、七月二十六日と二十九日の両日にわたり、福島大学教授小林清治先生と梁川中学校高橋健一先生に依頼し、町内の文化財調査委員総出で実地踏査をした。破壊されてはいるが、まだまだ原形がのこっている。われらの先祖、われらの郷土の歴史をものがたる物的証拠としてこの遺跡をなるべくこわさぬようみんなで努力したいものである。今回確認した館跡は次の号でお知らせする。

### おめでとーございませう

(七月中出生届をされた方 敬称略す)

出生日	氏名	親名と続柄	住所
6/18	山田つな子	靖の長女	堤下13
6/21	後藤清史	清一の長男	小坂 塚田40の2
7/1	奥山論	宏の長男	藤田 北22
7/5	小池美雪	章子の長女	徳江 沼田4
7/9	武田吉輝	繁夫の長男	山崎 北古館8
7/10	佐藤克彦	拓三の長男	藤田 北46
7/14	本田由美	国雄の長女	石母田上野94の3
7/14	曳地博枝	勝行の長女	山崎 東滝山8



明治学級だより

### ◎盛会だった 薬草研究会

七月二十三日午後一時半から福祉センターで行われた薬草の研究会は近頃にならぬ盛会であった。集まる者百三十余人、老人子ども室は満員、講師長尾延先生は七十三歳といわれるが今なおかくしやくとして、歯科医と薬局を営むかたわら各種社会事業に尽くされておられるという。先生が自ら山野をばっしょよし、永年かかって作られたたぐさんのカラスライドを写しながらわらわらよく話された。われわれの薬草研究もこのままで終らずこのつぎは実地採取会をやりたいとの声が大きかった。

(写真 薬草の話を書く  
明治学級生)

### ◎九月は二十五日

九月は老人福祉の月、若い人も老人も本気になって老人問題を考えよう。明治学級では九月二十五日、午後一時半から福祉センターで学習会を開く。

△テーマ 孤独との闘い  
(老人クラブと老人学級を考えよう)

△講師 保原公民館主事  
高橋 好先生

### 明治学級で油絵寄贈

去る三月二十日修了式を

終った明治学級生たち、われわれが楽しく有益な勉強をさせてもらっている公民館に対し、謝恩の意味で何か記念品を寄付しようという事で一人三百円ずつの募金をする事になった。これに対し学級生たちは喜んで募金に応じ、中には五百円千円と気ばるものあり、又この美拳に感激して「わたしも仲間に入れてくれ」と寄付を申し出る部外者もあって、たちまち予定の五万円を突破した。さてこの金で何をかうかとみんなで協議した結果、洋画でもという事で前の県北中学校教頭の清野茂先生に相談した。何しろ一号(ハガキ一枚分の大きさ)何万円という世の中で、五万円の小額では何ともならないことは承知の上で、お願いしたところ、お金はいらない、一番大きな(百号)絵どれでもよいから持ってきてきなさいといわれた。永年お世話になった国見町に協力しようとの清野先生のご好意に対し学級生一同心から感謝している。学級ではありがたくこれを頂戴してりっぱな額に収め、近くセンターの一角に掲げること

になっている。

### 後藤さんは造花

鳥取の後藤ゆんさんは明治学級開始以来の熱心な生徒の一人であり、方部役員としても大活躍をしていられるが、去る七月六・七日行われた研修旅行浜の旅に健康の都合で参加できなかったのを非常に残念に思いそのうめ合わせの意味で、旅行費として用意しておいた金にさらにたしませして、このほどみごとな演壇用造花をセンターに寄付された。

### 奨学資金に 100,000円

#### 新人議員さん寄付

四月二十五日に行なわれた町会議員選挙で当選された新人議員さん九名が、町奨学資金にと歳費の一部を寄付した。町では早速育英特別会計に組入れ、育英事業に役立てる事にいたしました。寄付された方々  
賀藤貞 佐藤忠美 斎藤勘吉 菊地久志 佐藤豊蔵 矢野三郎 菅野正明 林元治 菊地太三

(順不同敬称略)

### 第二回鈴虫大会

次により開催いたしますので同好者多数のご出品をお待ちいたします。

なお鈴虫ご希望の方は古川要吉さんまでご連絡ください。

- 一、期日 九月五、六日(前日夕刻搬入を受付ます)
- 二、会場 福祉センター
- 三、会費 金二百円也
- 四、出品方法 透明な容器(小型金魚鉢)にオス五
- 五、審査員 尾メス二尾 計七尾
- 六、賞品 読売新聞社杯一位く五位 参加賞 伊達中央信用金庫賞
- 七、鈴虫寄付先 藤田病院
- 八、主催 秋声会
- 後援 読売新聞社 国見町公民館 伊達中央信用金庫

### あつかし俳句会(七月十七日)

兼題 「夏の山」「端居」三句 「雑」二句  
席題 「茄子漬」

片言に反抗おほゆ端居の児  
九十九折更に嶺あり汗を拭く  
茄子漬に朱塗の箸を添えにけり  
もろくの憂さ飛ばしけり夏の山  
富士に立つ夏の男の心意気  
灯さず端居に星の数拾ふ  
夏の山むかし馬にて刈りし処  
夏山や白頭巾行く白法子  
灯をさけて言葉少き端居かな  
端居してふと我が老をおもいけり  
夏の山玩具の車見えがくれ  
端居よしびわ色の月のほり見て  
夏の山背伸びびして月の送電塔  
黄昏や端居欠かさぬ祖父なりき  
妻の愚痴端居に捨てて立ちにけり  
客攻めを端居の雲にのがれけり  
沼の影波紋にくする夏の山  
深みどり湖水をかこむ夏の山  
夏蔵王茂吉の碑あり我ここに  
切札のなき日を夏の陽に出でず

早田 灰鳥  
奥山 甲二  
斎藤 黄鶴楼  
熊田 一陽  
たかし 勝エ  
正一 痴仏  
蕪水 夢泉  
雨田 山月  
山月 吐絹  
山月 正雄  
祥子 かね子  
はる子 貞子  
かね子 栄子